

林業A

〔例題1〕 トランシット測量において生じる水平角観測の誤差に関する次の記述 a～d のうちには、望遠鏡の正位・反位の観測値の平均をとることによって消去することができるものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- a. 視準軸が水平軸に直交していないことによって生じる誤差
- b. 平盤気泡管が鉛直軸に直交していないことによって生じる誤差
- c. 目盛盤の刻み間隔が均等でないことによって生じる誤差
- d. 水平軸が鉛直軸に直交していないことによって生じる誤差

- 1. a、b
- 2. a、c
- 3. a、d
- 4. b、c
- 5. c、d

【正答3】

林業A

〔例題2〕 森林經理の指導原則に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 公共性の原則とは、国民が必要とする木材の最大生産に努めることにより国民あるいは地域住民の経済的福祉に最大限貢献するように森林を管理運営すべきという原則である。
2. 生産性の原則とは、最小の費用で最大の効果をあげるように経営すべきという原則である。
3. 経済性の原則とは、森林経営にあたっては最大の利益あるいは利潤率を得るように行わなければならないという原則である。
4. 収益性の原則とは、土地の生産性が最大になるよう経営を行わなければならない原則である。
5. 合自然性の原則とは、森林の持つ国土保全や水源かん養機能が十分発揮されるよう森林を管理すべきという原則である。

【正答1】

林業A

〔例題3〕 森林土壌に関するア～ウの記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. 石灰集積作用とは、降水量のやや多い地域で見られ、塩類は溶脱されるが地表近くに沈積したカルシウムは溶脱されず集積する作用をいう。
- イ. ポドゾル化作用とは、表層の鉄やアルミニウムが水溶性の化合物により溶かされ、下層で集積する作用をいう。
- ウ. グライ化作用とは、湿原等で寒冷多湿なため有機物の分解が妨げられ、未分解の植物遺体が集積する作用をいう。

	ア	イ	ウ
1.	正	正	正
2.	正	正	誤
3.	正	誤	正
4.	誤	正	誤
5.	誤	誤	誤

【正答2】

林業A

〔例題4〕 我が国の木質材料に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 集成材生産量のうち、国産材を原料としたものの割合は長期的に増加傾向であり、輸入材を原料としたものよりも高い割合を占めている。
2. CLTは、木材を薄く剥いた単板を3枚以上、繊維方向が直角になるよう交互に積層接着した板である。
3. プレカット材は、施工期間の短縮や施工コストの低減等のメリットから利用が拡大しており、プレカット加工を施した木材を一戸ごとに梱包・販売する業形態へ変化している。
4. 新たな木材製品として注目されているCLTは、国内では50件ほどの共同住宅、ホテル、オフィスビル、校舎等の建築で採用されている。
5. 合板用製造業への素材供給量は、国内生産における国産材の割合が非常に高く、コンクリート型枠用合板でも国産材を使用した製品が大きなシェアを占めている。

【正答3】